

第1回 瑞穂市地域公共交通会議・会議録

日 時 平成24年11月8日(木) 午前10時から午前11時
場 所 瑞穂市役所穂積庁舎 3階大会議室
出席委員 会長 倉内 文孝 副会長 迫田 義一
山田 芳喜 野田 寧広
棚橋 和子 梅田 吾朗
加藤 明 木村 治史
三ツ村 秀樹 澤原 鹿人
奥田 尚道
光村 克巳(武藤 行儀 代理)
谷口 哲一(鍋島 寿 代理)
白河 忠良(福富 保文 代理)

欠席委員 西村 盛夫 今瀬 千秋

事務局 総務部長 早瀬 俊一 総務課長 大岩 清孝
課長補佐 泉 大作 主事 森 大剛

傍聴人 なし

1. 開会 (事務局)

只今から第1回瑞穂市地域公共交通会議を開催いたします。委員のみなさまにおかれましては、大変お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。後ほど、会長に議長をお願いしますので、それまでの間、進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願いします。

2. 市長あいさつ

みなさんおはようございます。秋が深まりつつある中、瑞穂市地域公共交通会議を開催させていただきました。何かとご多用の中、ご出席いただきましてありがとうございます。公共交通として瑞穂市にはコミュニティバスと第三セクターである樽見鉄道がございます。樽見鉄道では沿線市町で総額1億円、その内、瑞穂市においては約1,000万円を支援しております。

樽見鉄道ではのべ60万人の利用があり、瑞穂市民はおよそ8万人の利用があります。みずほバスについては、年間およそ4,880万円の予算を投入しています。利用者は約6万人です。現在4路線運行をしていますが、市民のみなさまの声を聞き、パブリックコメントなどを通して路線再編作業を進めています。今回の会議では、みなさんの知恵をお借りしたいと考えております。日頃お世話になっておりますことも重ねてお礼申し上げて私のあいさつとさせていただきます。

3. 会長あいさつ

みなさんおはようございます。朝早くからご参集いただきましてありがとうございます。今回の瑞穂市公共交通会議につきましては、事務局が中心となって市民の意見も聞きながら新しい路線図を作成したものを、この場で検討していただきたいと思っております。委員としての意見をいただきながら良いものを作っていきたいと思っております。

(市長公務のため退席)

(事務局) 瑞穂市附属機関設置条例第8条に定める過半数の委員の出席を満たしているため会議は成立します。議事進行については、倉内会長に議長をお願いします。

4. 議事

(会長〔議長〕) それでは進めさせていただきます。

〈会議に当たっての確認事項〉

- ・会議録の要点筆記
- ・発言委員の氏名公表
- ・会議録の確認は会長と副会長で行う

みずほバスの概要と昨年の地域公共交通会議の内容の説明を事務局からお願いします。

(事務局) **資料4**をご覧ください。みずほバスの導入の歴史説明瑞穂北部線（平成23年度までは穂積リオワールド線）については、平成24年度に限ってみずほバスの路線として運行しています。みずほバスの利用者は穂積駅を中心とした利用です。新路線については市内を北部、中部、南部の3つに分けました。

当初は8通りの路線案を作り、その中から、今までの利用者にできるだけ迷惑をかけないと思われる案でパブリックコメントを実施しました。会議やイベントを通して広報した結果、34件の意見をいただきました。

(会長〔議長〕) これまでの経緯について何か確認しておきたいことはありますか。

(なし)

(事務局) **資料1**をご覧ください。この資料については6月下旬に各委員さんに配布しました。新路線についていくつか注目した点があります。1つ目は穂積駅中心の利用体系です。約70～75%が穂積駅を利用しているため、岐阜駅や大垣駅へのアクセスも考えての再編になります。2つ目は、利用者の多い停留所を経由し、逆に少ない停留所は廃止にしました。3つ目は、運行時間が長くなると利用者は離れていくため、できるだけ短くしました。4つ目は3路線編成です。市内にはみずほバスだけでなく、路線バスも運行しています。美江寺穂積線、大野穂積線が該当しますが、市からの補助なしで継続することが出来なくなっており、財政負担を考えるとみずほバスの4路線維持は困難です。5つ目は総合センター、市民センターの利用に応じた時刻表の設定です。「LC ワールド本巢」停留所については、市外の施設なので今回は対象から外します。

資料2をご覧ください。パブリックコメント実施後、寄せられた意見を参考にして修正したものになります。新規バス停の設置3箇所、バス停の移設1箇所、時刻表の変更です。

時刻表変更の主なポイントは3点です。1つ目は穂積駅始発を覚えやすい時刻にしました。(5の倍数の時間) 2つ目はアジサイスクールに通う児童・生徒に配慮しました。3つめは、十九条古橋線の時刻表の偏りを修正しました。

修正後の時刻表は買物利用や樽見鉄道との接続にも配慮してあります。

資料3をご覧ください。新規のバス停、移設させるバス停の地図と写真になります。「本田コミュニティセンター」停留所は敷地内への乗り入れを実施します。「前所」停留所については、

パブリックコメントの意見により設置を考えています。「居倉」停留所については、七崎・居倉地区のかたが利用できるように設置を考えています。「森」停留所はバスの経路上に移設させます。

(会長〔議長〕) 会議の位置づけについて確認したいと思います。平成25年4月1日で実施するとのことですのでよいでしょうか。その場合、案のとおりで承認をするのか、何か改善したほうが良いところがあった場合にその時間があるのか、それを含めて委員のみなさんに自由に意見を聞くのかどうかということです。

(事務局) 改善点の意見があればできるだけ取り入れたいと思います。

(会長〔議長〕) 何か意見があればお願いします。

(加藤委員) 新設の停留所についてですが、外灯の設置予定は。時期によっては周囲は暗くなりますが。

(事務局) 利用状況や要望等を考慮して考えていきたいと思います。

(山田委員) 資料2の路線図が来年4月から運行するものと考えてよいでしょうか。廃止される停留所について利用者は若干あるようですが、状況の整理はできているのでしょうか。

(事務局) 廃止する停留所については今後の状況を見て、周知については考えていきたいと思います。

(山田委員) 今後柔軟に対応していただきたいと思います。

(木村委員) LCワールド本巢の利用者が非常に多いですが、市民から何か意見はなかったでしょうか。

(事務局) リバーサイドモールは既に廃店されております。そのためLCワールド本巢利用者が約半分となっていますが、大半は本巢市の高校生が利用しており、来年から廃止になる旨は本巢市に連絡済みです。巢南地区のかたは、自転車で巢南庁舎まで来てもらってバスに乗っていただければと思います。また、廃止となる

停留所についてですが、「十七条」停留所から北側の道路について拡幅ができれば、運行経路を変更することができます。

(野田委員) 古橋地区については新しい世帯の入居が多くなっています。この地区に配慮した計画が必要だと思います。

(事務局) 古橋地区は若い世代の入居が多いので、新路線案の停留所をご利用いただければと思います。

(事務局) コミュニティバス路線を今後どうしていくか考える必要があります。市内を3つに分けて主要道路で再編しました。定着してきた時に、古橋地区については停留所を増やしてもよいと思います。

(会長〔議長〕) 難しい問題だと思います。コミュニティバスを利用して役に立つと言っただけなのは、お年寄りのかたが多いと思います。一方で、若年世代の配慮が不足すると、この世代は利用しないことになり、利用が広がらないと思います。人が多い場所に停留所を設置することで、小さな子どもが利用できるようにし、子どもの時からみずほバスに慣れ親しんでもらうこともバス利用者増加のための一つの手かだと思います。

(棚橋委員) 南保育教育支援センターと南小学校の間に停留所がありませんが、近辺のかたは歩いているので、今のところは問題ないと思います。

(梅田委員) 少し話がそれます。みずほバスは穂積駅の南側に乗り入れすることになっていますが、穂積駅の北側に住む人に対して、北側から乗ることはできないでしょうか。時刻帯によって変えてみてはどうでしょうか。

(白河委員) 岐阜駅を例にとると、バスの停留所は全て北側にあります。時間の短縮という面ではわずかな違いがあると思いますが、検討課題の一つではあると思います。

(梅田委員) 時間にすればあまり変わらないと思いますが、将来的なこと

を考えていく必要もあると思います。土地を購入する必要性など困難なこともあると思います。瑞穂市の発展には穂積駅を中心としたまちづくりであり、駅の便利さが重要です。

(会長〔議長〕) 長期的な視点を持ってどこまでできるかだと思います。

(奥田委員) 穂積駅の北側については将来的には考えていくことと認識しています。南側については、今年の国体を踏まえて拡幅を実施しました。公共交通の目的の一つとして、公共施設と病院を結ぶこともあり、公共施設としては市役所がその拠点になり、病院についてもアクセスできるようになっています。市役所の東には総合センター、西側には市民センターがありますので、そこを經由して駅へ行くことが必要です。時間帯によつての経路変更も考えられますが、現状ではその駅北側のアクセス道路が十分ではありません。将来的な構想では考えていくべき行政課題だと思います。

(梅田委員) JRの北側は住宅がたくさん建っています。通勤ということを考慮すると、穂積駅北側にバスを乗り入れることも考える必要があります。

(会長〔議長〕) 今回のパブリックコメントを実施する上で、注目した点はいくつかありますが、みずほバスを誰の、どんな交通のために作ろうとしているのか、少しぶれている可能性があるかもしれません。通勤客を取り込んでいくことが、コミバスで求められているのか、また、需要がたくさんあるようであれば、路線バスとして成立していることが望ましいと思います。利用者が少ないから廃止にしているのか、ということも考えられます。パブリックコメントの意見を見ると病院に行けなくなるとの意見もあるようです。必要なところは訂正し、運行後は、寄せられた意見から工夫していくことが重要です。

(野田委員) 先日、郡上市で行われた講演で、瑞穂市は10年後に県下で高齢者の増加数がトップになるとの話を聞きました。10年後の高齢者の数を考えた路線にしなければなりません。そのためにも道路整備が必要です。高山市や飛騨市は道路が直線になつ

ています。瑞穂市の道路もバス運行に適したものにしないと
いけない。総合センターや市民センターで寿大学や検診などが行
われる際には、駐車場が満車になってしまいます。高齢者のか
たも車で来場しています。そのかたのためにみずほバスの拡大
も考えなければならないと思います。

(山田委員) 大幅な改正となりますので、早めに時刻表の広報が必要です。
平成25年4月1日までに訂正できるところは訂正し、運行後
も必要に応じて継続して修正してください。

(光村委員) 廃止するバス停の対策を考えていただきたいと思います。乗
務員の休息等も考慮されており、問題はありません。

(澤原委員) バス停留所は人の集まる場所ですので、交通事故がないよ
うに安全対策をしていただきたい。特に利用者が多い停留所は
注意してほしい。

(会長〔議長〕) 利用者の数によりますが、新規の停留所については十分に配
慮していただきたいと思います。

(谷口委員) パブリックコメントでは分からないことで、一度やってみて
わかることもあります。引き続き市民の意見を聞いていただ
きたいと思います。事前の周知は十分に行ってください。

(三ツ村委員) バス路線はいかに地域のかたに利用していただくかとい
うことですが、路線が良いものかどうかはその時々によって変わり、
路線というものは決めにくいものです。その時に応じて見直
していくことをしなければ、本当にいい路線というものはない
のでしょうか。

(会長〔議長〕) 路線を変えることが目的ではなく、より良い交通システム
の体系を作ることが目的であり、その後の検証が大事だと思
います。

(迫田委員) 福祉に力を入れなければならない中、新路線案
を見てみるとよく考えられていると理解しています。停留所も

配慮されています。東海環状道が完成すれば、また状況は変わってきますので再編するという姿勢は持ち続けていただきたいと思います。

(加藤委員) 新設の本田コミュニティセンターの停留所については、ベンチがあると良いと思います。ある市のかたから話を聞くと、地元からの要望で停留所を作ったが、利用者はなかったということも聞いています。新路線は定着するには少し時間がかかると思います。

(木村委員) 新路線で運行するためには、関係機関と調整が必要になります。時間はあるようであまりないので、早めの準備をお願いします。状況は変わっていくものであるので、地域住民の意見を吸い上げる住民協議会などを設けることも一つの方法で提案します。

(会長〔議長〕) 意見を集約いたしますと、事務局より提案のあったとおりの進めることについて、問題なく承認されたといえます。ただし、廃止されるバス停付近の住民に対して、今後も注意していただきたいことと、事前周知を徹底し、重要な意見についてはできる限り反映をしていただきたいです。路線の定着も時間がかかります。運行してからの問題点についても臨機応変に柔軟に対応してください。

公共交通会議のやり方は各自治体によってかなり違いがあります。例えば、ワークショップを行って決めていくところもあります。以前の会議では、野田委員から住民の意見をもっと入れてもいいのではないかとの意見がありました。可能であればそのような手法も用いてもよいと思います。財源に限りがある中、全員が満足するものは作ることはできません。パブリックコメントは自分の立場で意見を言うものですが、ワークショップでは、地域の実情を知り、全体を考えて意見を言うことができるので、取り入れているところがあります。検討してみてください。もう一点、利用していない人の中には、バス停の位置や時刻表が合わないから利用できない人もいます。地域にどれくらいの人が住んでいて、高齢者がどれくらいいるのかな

ど統計上のデータに基づいての需要予測ができるので、そのようなノウハウを持ったコンサルタントに依頼することも一方策だと思います。

その他、何かありますか。

(意見なし)

では原案をベースにみずほバスの新路線を進めていただきたいと思います。

(事務局) 本日は熱心なご議論をいただきまして、誠にありがとうございました。これで平成24年度第1回瑞穂市地域公共交通会議を閉会します。